

学校だより



津市立櫛形小学校
R8.4.14 発行
第2号 文責：校長

複式の学級編成、2年目のスタートです！！

小学校では特別支援学級のお子さんの数をのぞいて、2学年を合わせて16人以下（1年生を含む場合は8人以下、6年生を含む場合は14人以下）となると、複式の学級編制になります。これは、国の基準で定められている定数です。令和7年からこの基準により、2・3年生と4・5年生で複式の学級編制がスタートしました。複式の学級指導を通して、単学年では見えなかった、素敵なお子様の姿を再発見したり、トラブルを乗り越え日々成長したくましくなっていくお子様の姿が見られたりしたと聞いています。新年度をスタートするにあたり、教員の声や保護者様からいただいたお声を紹介させていただき、複式の学級編制が始まった令和7年度を振り返ります。



教員の声

- ★今までなら、数人の意見や考えの交流となり、情報量が減るために、多様な考えを知ることが難しかったですが、複式となったことで、多様な意見や考えを知ったり受け入れたりする機会が増えました。そのことで悩んだり、不安になったりした経験も、相手のことを考える力につながったと思います。また、より多くの人数で学びあうことで、自分の考えをわかりやすく相手に伝える力を育むことにつながりました。
- ★上の学年の子どもは下の学年の子の面倒をよく見て、支える姿がたくさん見られました。また、逆に、下の学年の子どもが上の学年の子どもを「さすが」「すごい」と尊敬する姿も見られました。お互いを思い合う姿がとてうれしかったです。
- ★今までなら、同じメンバーで、仕方ない・・・と、喧嘩することさえ、あきらめてしまう場面もありましたが、喧嘩をしながら、人間関係を学ぶチャンスにもなりました。
- ★大人数での生活を送ることができないまま、卒業していったため、中学校への不安や心配をする児童や保護者様のお声もたくさんいただいていたと思います。複式での経験は大

人数で学ぶことになり、中学校へつながると思います。

- ★クラス替えの経験ができます。人間関係がリセットすることができ、新しい1年を新たな気持ちでスタートできると思います。
- ★少人数のため、同学年では、男女の比率に偏りがあります。複式になることで、異性との交流ができたり、また、同性との交流ができたりしました。特に、新1年生は男の子の中にたった1人、女の子となります。体育や図工、生活科など、2年生と一緒に学ぶことで、同性の友だちと学ぶ機会、友だちになる機会になります。
- ★体育では、試合をすることが難しかったですが、異学年で学ぶことにより、チームをやってプレイしたり、チームのメンバーを替えてプレイしたりすることができ、指導の幅が増えました。

保護者様からいただいているお声

- ★同性に気の合うお友だちがいまいませんでしたが、複式の編成になることで、年上の同性の友だちができました。学校へ行くのが楽しいと言って元気に学校に登校しています。
- ★複式の編成にはなりましたが、主要な教科については、学年別に行っていたので、引き続き、丁寧に指導していただけてありがたいです。
- ★学年を分けて指導していただき、いろいろな先生に指導していただける経験になりました。担任以外の先生方からも手厚く指導いただいたり、見ていただいたりしてありがたいです。

複式の学級編成がスタートして1年。素敵な子どもたちのかかわり、教員とのかかわりも生まれた一方、学年を分けて教科の指導する中で、単学年での丁寧なかかわりの良さも再確認できました。今年度は、複式の編成となる学年については、特別支援学級の担任を副担任として位置づけ、特別支援学級とも連携しながら、お子様の指導に当たります。



○ありがとうございました○

4月9日・10日の2日間、個別懇談会をおこないました。ご多忙のところ学校へお越しいただきありがとうございました。懇談を通じて、お子様のご家庭での様子について知ることができました。今後とも、保護者の皆様と連携を取りながら、お子様の成長を見守っていけるよう努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、4月17日（金）には、授業参観を予定しております。どうぞよろしく申し上げます。